

syllabus

2022

建 築 科

学校法人 京都建築学園
京都建築専門学校

2022年度時間割

建築科1年前期

・《選択科目》は2年間で6単位必修

・【ゼミ】は2年間で3単位必修（ゼミは人数により開講しない場合があります）

※火曜日3・4時間目 木工基礎A前半(出席番号奇数前半)・木工基礎A後半(出席番号奇数後半)

※金曜日3・4時間目 木工基礎B前半(出席番号偶数前半)・木工基礎B後半(出席番号偶数後半)

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	CAD情報A 山口	設計製図1 佐野 高橋勝	概論 佐野	《選択科目》 意匠演習 円満字	設計製図1 佐野 高橋勝
2	11:00 ～ 12:30	建築材料A 杉江		建築計画A 菅原	日本建築史 桐浴	
3	13:15 ～ 14:45	一般構造A 杉江	木工 基礎A 前半 佐野	構造力学1A 浅野	伝統建築演習 桐浴／本間	木工 基礎B 前半 福井
4	14:55 ～ 16:25	環境工学A 中田	木工 基礎A 後半 佐野	工学基礎1 浅野		木工 基礎B 後半 福井
5	16:35 ～ 18:05		【ゼミ】 インテリア 稲端下			15:40 ～17:10 【ゼミ】 町家1 吉田
リモートラーニング 特設サイトで実施		【ゼミ】西洋建築史(桐浴) 【ゼミ】近代建築史(桐浴)				

建築科1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	環境工学B 中田	設計製図2 佐野 池井	西洋建築史 池井	《選択科目》 工学基礎2 円満字	設計製図2 佐野 池井
2	11:00 ～ 12:30	建築材料B 杉江		建築計画B 菅原	インテリア基礎 山本	
3	13:15 ～ 14:45	一般構造B 杉江		構造力学1B 浅野	13:15～15:30 計画演習 菅原	
4	14:55 ～ 16:25	CAD情報B 山口	【ゼミ】 木工椅子 佐野	【ゼミ】 町家2 吉田		【ゼミ】 木工大工 福井
5	16:35 ～ 18:05		【ゼミ】 建築デザイン 魚谷			【ゼミ】 住居論 香西
リモートラーニング 特設サイトで実施		【ゼミ】西洋建築史(桐浴) 【ゼミ】近代建築史(桐浴) 【ゼミ】和の空間デザイン(桐浴)				

2022年度時間割

建築科2年前期

- ・《選択科目》は2年間で6単位必修
- ・【ゼミ】は2年間で3単位必修（ゼミは人数により開講しない場合があります）

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	設計製図3 菅原 高橋完実	建築施工法A 高橋完実	西洋建築史 池井	設計製図3 菅原 高橋完実	建築設備A 中
2	11:00 ～ 12:30		建築法規A 高橋完実	構造力学2A 浅野		建築積算A 中
3	13:15 ～ 14:45		13:15～15:30 《選択科目》 設計演習 田所・菅原 中田・中	建築産業 菅原	卒業制作A	
4	14:55 ～ 16:25	15:45～17:15 【ゼミ】 木造建築士 円満字		RC構造 山口		
5	16:35 ～ 18:05					【ゼミ】 空間論 香西
リモートラーニング 特設サイトで実施		【ゼミ】西洋建築史（桐浴） 【ゼミ】近代建築史（桐浴）				

建築科2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:20 ～ 10:50	10:15～12:30	建築施工法B 高橋完実		10:15～12:30 卒業制作B	建築設備B 中
2	11:00 ～ 12:30					建築積算B 中
3	13:15 ～ 14:45		13:15～15:30 設計製図4 菅原	伝統構法・実験 佐野	13:15～15:30 卒業制作B	鉄骨構造 加藤
4	14:55 ～ 16:25			《選択科目》 建築士基礎演習 菅原・永良 山口・高橋完実		
5	16:35 ～ 18:05		【ゼミ】 二級施工管理 試験対策講座 齋藤		【ゼミ】 二級施工管理 試験対策講座 齋藤	【ゼミ】 二級施工 管理対策 講座 齋藤
リモートラーニング 特設サイトで実施		【ゼミ】西洋建築史（桐浴） 【ゼミ】近代建築史（桐浴） 【ゼミ】和の空間デザイン（桐浴）				

建 築 科

		科 目	必修 選択	分類	年 次		学 期		週時間	時間数合計		単 位			備 考
					1	2	前期	後期		1	2	講義	演習	実習	
専 門 科 目	1	設 計 製 図 1	必修	1	1		前期		10	150			10		
	2	設 計 製 図 2	必修	1	1			後期	12	150			12		
	3	設 計 製 図 3	必修	1		2	前期		10		150		10		
	4	設 計 製 図 4	必修	1		2		後期	3		45		3		
	5	C A D 情 報 A / B	必修	1	1		前期	後期	2	60			4		
	6	日 本 建 築 史	必修	2	1		前期		2	30		2			
	7	西 洋 建 築 史	必修	2	1	2	前/後期隔週		2	30		2			隔年授業(2021年度1・2年)
	8	近 代 建 築 史	必修	2		2	前期		2		30	2			隔年授業(2020年度休講)
	9	伝 統 建 築 演 習	必修	2	1		前期		3	60			2		
	10	建 築 計 画 A / B	必修	2	1		前期	後期	2	60		4			
	11	計 画 演 習	必修	2	1			後期	3	45			3		
	12	環 境 工 学 A / B	必修	3	1		前期	後期	2	60		4			
	13	建 築 設 備 A / B	必修	4		2	前期	後期	2		60	4			
	14	構 造 力 学 1 A / B	必修	5	1		前期	後期	2	60		4			
	15	構 造 力 学 2 A / B	必修	5		2	前期	後期	2		60	4			
	16	一 般 構 造 A / B	必修	6	1		前期	後期	2	60		4			
	17	伝 統 構 法 ・ 実 験	必修	6		2		後期	2		30	2			
	18	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 構 造	必修	6		2	前期		2		30	2			
	19	鉄 骨 構 造	必修	6		2		後期	2		30	2			
	20	建 築 材 料 A / B	必修	7	1		前期	後期	2	60		4			
	21	建 築 産 業	必修	8		2	前期		2		30	2			
	22	建 築 施 工 法 A / B	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
	23	建 築 積 算 A / B	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
	24	建 築 法 規 A / B	必修	9		2	前期	後期	2		60	4			
	25	卒 業 制 作 A	必修			2	前期		2		30		2		
	26	卒 業 制 作 B	必修			2		後期	6		90		6		
	27	イ ン テ リ ア 基 礎	必修		1			後期	2	30		2			
	28	木 工 基 礎	必修		1		前期		3	45				1	
	29	工 学 基 礎 1	必修		1		前期		2	30		2			
	30	建 築 概 論 1 / 2	必修		1		前/後期隔週		2	30		2			
	31	意 匠 演 習	選択	10	1		前期		2	(30)			(2)		2年間6単位以上
	32	工 学 基 礎 2	選択		1			後期	2	(30)		(2)			
	33	設 計 演 習	選択	1		2	前期		3		(45)		(3)		
	34	建 築 士 基 礎 演 習	選択			2		後期	2		(30)		(2)		
	35	ゼ ミ (演 習)	選択		1	2	前期	後期	2	(60)			(3)		2年間3単位以上
履修すべき合計(選択除く)										960	765	60	52	1	単位数合計 113

実務経験のある教員等による授業科目

科 目	担当教員名	必修 選択	分類	年 次		学 期		週時間	時間数合計		単 位			備 考
				1	2	前期	後期		1	2	講義	演習	実習	
C A D 情 報 A / B	山 口 英 樹	必修	1	1		前期	後期	2	60			4		
西 洋 建 築 史	池 井 健	必修	2	1		前期		2	30		2			
近 代 建 築 史	池 井 健	必修	2		2		後期	2		30	2			
建 築 計 画 A / B	菅 原 章	必修	2	1		前期	後期	2	60		4			
計 画 演 習	菅 原 章	必修	2	1			後期	3	45			3		
環 境 工 学 A / B	中 美 加 子	必修	3	1		前期	後期	2	60		4			
建 築 設 備 A / B	中 美 加 子	必修	4		2	前期	後期	2		60	4			
構 造 力 学 1 A / B	浅 野 清 昭	必修	5	1		前期	後期	2	60		4			
構 造 力 学 2 A / B	浅 野 清 昭	必修	5		2	前期	後期	2		60	4			
一 般 構 造 A / B	毛 利 隆 之	必修	6	1		前期	後期	2	60		4			
鉄 筋 コンクリート構造	佐 久 間 譲	必修	6		2	前期		2		30	2			
鉄 骨 構 造	佐 久 間 譲	必修	6		2		後期	2		30	2			
建 築 材 料 A / B	中 村 直 美	必修	7	1		前期	後期	2	60		4			
建 築 産 業	菅 原 章	必修	8		2	前期		2		30	2			
建 築 施 工 法 A / B	高 橋 完 実	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
建 築 積 算 A / B	中 美 加 子	必修	8		2	前期	後期	2		60	4			
建 築 法 規 A / B	高 橋 完 実	必修	9		2	前期	後期	2		60	4			
イ ン テ リ ア 基 礎	山 本 剛 史	必修		1			後期	2	30		2			
工 学 基 礎 1	浅 野 清 昭	必修		1		前期		2	30		2			
意 匠 演 習	円 満 字 洋 介	選択	10	1		前期		2	30			2		
工 学 基 礎 2	円 満 字 洋 介	選択		1			後期	2	30		2			
ゼ ミ (演 習)	各担当教員	選択		1	2	前期	後期	2	(60)			(3)		2年間3単位以上
実務経験のある教員等による授業科目の合計(ゼミ除く)									495	420	56	9	0	単位数合計 65

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
1	設計製図1	1年前期	必修	中 田 哲 佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		10	10	
【授業の目的】				
主に木造住宅の製図と設計の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
木造住宅の模写と設計を通じて木造住宅建築と設計の基礎を学ぶ				
【授業内容・授業計画】				
1	製図の練習	いろいろな線	簡単な構造物	
2	木造住宅製図の模写	平面図		
3		立断面図		
4		伏図		
5		軸組図		
6		矩計図		
7	木造住宅の設計	お気に入り住宅	公表・採点	
8		草案		
9		草案		
10		ケント草案	中間発表	
11		配置図・平面図		
12		立面図・断面図		
13		構造図		
14		断面詳細図		
15		プレゼン	公表・採点	
16	二級建築士問題の製図			
17	補習			
18	補習			
【成績評価】				
作品により評価する すべての課題の提出がもとめられる				
【テキスト】				
「超入門 建築製図」(市ヶ谷出版社) 「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
2	設計製図2	1年後期	必修	中 田 哲 佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		12	12	
主に鉄筋コンクリート造の製図と設計の基礎を学ぶ				
【授業の概要】				
鉄筋コンクリート造公共建物の模写と設計を通じて鉄筋コンクリート造建築と設計の基礎を学ぶ				
【授業内容・授業計画】				
1	RC造事務所の製図	平面図		
2		立断面図		
3		矩計図		
4		伏図軸組図		
5		階段詳細図	配筋詳細図	
6	カフェの改修	草案		
7		プレゼン		
8	RC造アートギャラリー	敷地・美術館見学会		
9	の設計	草案		
10		草案		
11		ケント草案	中間発表	
12		配置図・平面図	(CAD製図)	
13		立面図・断面図	(CAD製図)	
14		断面詳細図	(CAD製図)	
15		構造図	(CAD製図)	
16	二級建築士問題の製図	(RC造)		
17	RC造アートギャラリー	プレゼン		
18	の設計	公表・採点		
19	補習			
【成績評価】				
作品により評価する すべての課題の提出がもとめられる				
【テキスト】				
「超入門 建築製図」(市ヶ谷出版社)「鉄筋コンクリート造入門」(彰国社) 「コンパクト建築設計資料集成」(丸善)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
3	設計製図3	2年前期	必修	高橋 完実 池 井 健
		【週時間数】	【単位数】	
		10	10	
【授業の目的】				
1.鉄骨構造の理解 2.自由設計の能力を養う				
【授業の概要】				
鉄骨造事務所ビルの図面の模写を通じて鉄骨構造の理解を深めるとともに、自由設計課題(集合住宅・学生寮)を通じて設計力と製図力を養う。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨造事務所ビル 配置図・1階平面図				
2 鉄骨造事務所ビル 基準階平面図 立面図 断面図				
3 鉄骨造事務所ビル 伏図 軸組図				
4 鉄骨造事務所ビル 架構詳細図				
5 鉄骨造事務所ビル 矩計図				
6 集合住宅・学生寮 課題説明				
7 集合住宅・学生寮 グループディスカッション				
8 集合住宅・学生寮 基本計画				
9 集合住宅・学生寮 基本計画の発表				
10 集合住宅・学生寮 図面作成1				
11 集合住宅・学生寮 図面作成2				
12 集合住宅・学生寮 図面作成3				
13 集合住宅・学生寮 図面作成4				
14 集合住宅・学生寮 相互採点				
15 1日課題				
16 集合住宅・学生寮 発表				
17 1日課題				
【成績評価】				
各課題の評価に、平常点を加味する。				
【テキスト】				
「超入門 建築製図」(市ヶ谷出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
4	設計製図4	2年後期	必修	菅原 章
		【週時間数】	【単位数】	
		3	3	
【授業の目的】				
建築物を構成する建築材料と納まりの理解				
【授業の概要】				
建築物の部分詳細図の作成を通じて、各部の納りを理解する。				
【授業内容・授業計画】				
1 RC建築物 防水－陸屋根の防水とパラペット				
2 RC建築物 外壁－化粧打放し、タイル張り、吹付、内断熱				
3 RC建築物 間仕切壁－木軸、LGS、コンクリートブロック				
4 RC建築物 開口部－床と壁				
5 RC建築物 開口部－アルミ製建具、鋼製建具、木製建具				
6 RC建築物 階段1－平面計画(階高、蹴上げ、踏面、段数、有効幅)				
7 RC建築物 便所－衛生器具の配置				
8 木造建築物 屋根1－瓦葺き				
9 木造建築物 屋根2－化粧スレート葺き、金属板葺き				
10 木造建築物 外壁－張り壁、塗り壁				
11 木造建築物 和室－開口部				
12 木造建築物 和室－平面図				
13 木造建築物 和室－展開図				
14 木造建築物 家具				
15 試験				
【成績評価】				
【テキスト】				
「鉄筋コンクリート造入門」(彰国社) 「必携建築資料」(実教出版)				
【備考】				
毎回図面を作成、提出する。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
5A	CAD情報A	1年前期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築CADの基礎知識の修得と操作能力を身につけ建築設計への応用、プレゼンテーション作成等の技術を身につけることを目的とする。				
【授業の概要】				
汎用2次元CADのJW_CADを主に用い建築CADの基本操作を学び基本図面のトレースが出来る技術を身につける。さらに設計製図、建築パース図作成など幅広く応用できる能力を身につける。				
【授業内容・授業計画】				
1 CADとは何か。設計(デザイン)とは。 2 JW_CADの基本操作 1 3 JW_CADの基本操作 2 4 JW_CADの基本操作 3 5 マンション平面図(1/100)の作成実習 1 6 マンション平面図(1/100)の作成実習 2 7 マンション平面図(1/100)の作成実習 3 8 敷地図、日影図、設備図の作成実習1 9 敷地図、日影図、設備図の作成実習2 10 立面図作成実習による各種コマンドの復習と印刷の練習 1 11 木造住宅の平面詳細図(1/50)作成実習1 12 木造住宅の平面詳細図(1/50)作成実習2 13 JW_CADの応用(瓦屋根の作図、画像貼付等) 14 まとめ解説、試験説明 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
CAD試験による成績に、課題提出を加味する。				
【テキスト】				
「JW_CAD徹底解説(操作解説編)」(エクスナレッジ)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
5B	CAD情報B	1年後期	必修	山口 英樹 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築CADの基礎知識の修得と操作能力を身につけ建築設計への応用、プレゼンテーション作成等の技術を身につけることを目的とする。				
【授業の概要】				
汎用2次元CADのJW_CADを主に用い建築CADの基本操作を学び基本図面のトレースが出来る技術を身につける。さらに設計製図、建築パース図作成など幅広く応用できる能力を身につける。				
【授業内容・授業計画】				
1 jw_cadのコマンド練習 応用(外部変形) 2 SketchUp基礎1 SketchUpとは。チュートリアル 3 SketchUp基礎2 基本コマンド説明 4 SketchUp基礎3 jw_cadとの連携方法 5 SketchUp演習トレース課題1 6 SketchUp演習トレース課題2 7 SketchUp演習トレース課題3 8 SketchUp演習応用課題1 9 SketchUp演習応用課題2 10 SketchUp演習応用課題3 11 SketchUp演習応用課題4 12 プレゼンテーション テクニック1 13 プレゼンテーション テクニック2 14 まとめ、試験説明 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
CAD試験による成績に、課題提出を加味する。				
【テキスト】				
「JW_CAD徹底解説(操作解説編)」(エクスナレッジ)、プリント配布				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
6	日本建築史	1年前期	必修	桐浴 邦夫
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
日本建築の歴史を学ぶことで、これまで人間が何を考えて建築をつくってきたかに思いをはせて、今後の建築活動に活かす				
【授業の概要】				
日本建築の形式、意匠、構造等を明らかにし、その展開・発展を考察する				
【授業内容・授業計画】				
1 日本建築とは 2 日本建築の基礎知識 3 神社建築のみかた1 伊勢神宮・出雲大社 4 神社建築のみかた2 日光東照宮 5 寺院建築のみかた1 法隆寺・薬師寺・唐招提寺 6 寺院建築のみかた2 平等院・三仏寺 7 寺院建築のみかた3 大仏様と禅宗様 8 竪穴住居と高床建築 9 寝殿造 10 書院造のみかた 二条城二ノ丸御殿 11 茶室のみかた 待庵・如庵 12 数寄屋風書院造のみかた 桂離宮 13 城郭 14 民家と町家 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 再試験				
【成績評価】				
試験による成績に、レポートおよび出席状況を加味して評価する。				
【テキスト】				
「日本建築史図集」(彰国社)				
【備考】				
伝統建築演習と関連し、現地見学などを行う。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
7	西洋建築史	1年前期	必修	池 井 健 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
西洋建築史の基本的知識の習得に努め、世界の建築の歴史に関する素養と見識を深める。				
【授業の概要】				
複雑多岐をきわめる西洋建築史を時代を追って学習する。有名、無名の様々な歴史的建築物のスライド等を通じ、建築空間の変遷とその多様性について、時代性や地域性といった背景とともに概観する。				
【授業内容・授業計画】				
1 西洋建築史概観 2 古代オリエント・エジプト建築 3 古代ギリシア建築 4 古代ローマ建築 5 初期中世建築 6 ロマネスク建築 7 ゴシック建築 8 ルネサンス建築 9 バロック建築 10 18世紀の建築 11 19世紀の建築 12 モダニズム建築1 13 モダニズム建築2 14 ポストモダニズム以降の建築 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「西洋建築様式史」熊倉洋介他著(美術出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
8	近代建築史	2年後期	必修	池 井 健 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築のみならずあらゆる文化の大きな転換期となった近代という時代を概観することにより、時代に応じた建築のあり方について考える。				
【授業の概要】				
主に西洋の近代における建築の展開を、産業革命などの時代背景との関係を整理して、他の芸術分野の展開にも触れながら概観する。				
【授業内容・授業計画】				
1 近代建築史概観 2 産業革命と建築 3 都市の近代的再編 4 19世紀末の造形運動 5 前衛の運動 6 表現主義の建築とその時代 7 アメリカにおける近代建築の形成 8 近代主義建築の成立 9 近代建築運動の広がり 10 歴史様式とアール・デコ 11 近代主義の成熟と変容 12 近代への懐疑 13 建築のポストモダン 14 近代建築史概観 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「近代建築史」(昭和堂) 「近代建築史図集」(彰国社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】	
9	伝統建築演習	1年前期	必修	桐浴 本間	邦夫 智希
		【週時間数】	【単位数】		
		3	2		
【授業の目的】					
見学・演習を通して伝統的な建物の理解を深める					
【授業の概要】					
京都市内および近郊の伝統建築建築の見学 また教室での演習は、古建築の形式や細部意匠のみかたについて学ぶ					
【授業内容・授業計画】					
(見学)		(講義・演習)			
1	上賀茂神社				
2	北野天満宮・千本釈迦堂				
3		伝統建築概要			
4	三十三間堂				
5	平等院・宇治上神社				
6	東寺				
7		古建築の形式			
8	醍醐寺				
9	東福寺				
10	大徳寺				
11		古建築の細部意匠			
12	相国寺				
13	二条城				
14		茶の湯と茶室			
15	まとめ				
【成績評価】					
出席状況およびレポートにより評価する。					
【テキスト】					
「日本建築史図集」(彰国社)					
【備考】					
天候や諸般の事情に伴い、日時や見学先の変更の可能性がある。					

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
10A	建築計画A	1年前期	必修	菅 原 章 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築計画の知識を身につける。				
【授業の概要】				
動線計画や機能分離、動作空間など、建築計画の基礎知識を身につけるとともに、居住系の建築物の計画手法を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築計画について、住宅の歴史				
2 住宅の敷地・配置計画				
3 住宅の平面計画・動線計画				
4 住宅のプランタイプ				
5 住宅の空間1(個人的生活空間)				
6 住宅の空間2(共同的生活空間)				
7 住宅の空間3(家事空間・生理衛生空間・交通空間・収納空間)				
8 独立住宅の実例				
9 細部計画				
10 建築計画の進め方				
11 集合住宅1(集合住宅の形式と分類)				
12 集合住宅2(集合住宅の各部の計画)				
13 集団住宅地・近隣住区理論				
14 人と地球にやさしい建築計画(高齢者・障害者への配慮)				
15 試験				
16 人と地球にやさしい建築計画(地球環境への配慮)				
17 補習				
18 補習				
【成績評価】				
試験の成績に、出席状況と小テストの成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい建築計画」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
10B	建築計画B	1年後期	必修	菅 原 章 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築計画の知識を身につける。				
【授業の概要】				
居住系以外の各種建築物の計画手法を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 駐車場の計画 2 事務所ビルの計画 3 幼稚園・保育所の計画 4 小学校の計画 5 美術館・博物館の計画1 6 美術館・博物館の計画2 7 図書館の計画 8 ホテルの計画 9 病院・診療所の計画 10 劇場・音楽ホール of 計画 11 高齢者福祉施設の計画 12 商業施設の計画 13 コミュニティ施設の計画 14 スポーツ施設・工場・倉庫の計画 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の成績に、出席状況と小テストの成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説やさしい建築計画」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
11	計画演習	1年後期	必修	菅原 章 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		3	3	
【授業の目的】				
建築計画の知識を設計に生かす				
【授業の概要】				
具体的な建築物の計画課題に取り組む中で、動線計画や機能分離など、建築計画の知識を設計に応用し、理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 事務所ビルの外構計画				
2 事務所ビルの動線計画・機能分離				
3 音楽教室のある楽器店の計画1				
4 音楽教室のある楽器店の計画2				
5 音楽教室のある楽器店の計画3				
6 美術館・博物館の動線計画・機能分離				
7 テニスコートに付属するクラブハウスの計画1				
8 テニスコートに付属するクラブハウスの計画2				
9 テニスコートに付属するクラブハウスの計画3				
10 テニスコートに付属するクラブハウスの計画4				
11 テニスコートに付属するクラブハウスの計画5				
12 高原に建つペンションの計画1				
13 高原に建つペンションの計画2				
14 高原に建つペンションの計画3				
15 高原に建つペンションの計画4				
16 高原に建つペンションの計画5				
17 補習				
18 補習				
【成績評価】				
各課題の評価に、出席状況を加味する。				
【テキスト】				
「マイロード21 専修・各種学校生の就職ガイド」(実教出版)				
【備考】				
学期末に就職活動のためのオリエンテーションを行う。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
12A	環境工学A	1年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
私たちを取り巻く自然現象についての理解を深め、建築の設計に必要な知識を身につけます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。光と音について、「基本的な考え方」を学び、身の回りの様々な現象について「なぜ、そうなるのか」を考えます。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築環境工学の概要 2 太陽の動き 3 日照・日影 4 日射 5 採光-その1 6 採光-その2 7 照明 8 色彩 9 音の性質 10 音の単位 11 室内音環境 12 騒音と振動 13 室内音響 14 前期まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築環境工学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
12B	環境工学B	1年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
私たちを取り巻く自然現象についての理解を深め、建築の設計に必要な知識を身につけます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。熱や空気について学び、快適な温度の基準や断熱や結露のしくみについて考えます。				
【授業内容・授業計画】				
1 外部気候 2 室内気候 3 伝熱 4 熱貫流 5 室内への熱の出入り 6 断熱その1 7 断熱その2・蓄熱 8 湿気・結露 9 室内の空気汚染 10 室内換気 11 換気計画その1 12 換気計画その2 13 都市環境 14 後期まとめ 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築環境工学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
13A	建築設備A	2年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
給排水や空調、電気などの快適に建物を使用するため設備について、基本的な用語を知り、その仕組みについて考えます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。 水を使うための設備、電気を使用するための設備を考える上で必要な用語やしぐみについて学びます。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築設備の概要 2 給排水の概要・水の性質 3 給水その1（給水方法） 4 給水その2（水質汚染） 5 給湯 6 排水その1（排水方法） 7 排水その2（処理施設） 8 ガス・衛生器具 9 給排水まとめ 10 電気の基本・受変電 11 幹線・動力 12 照明・コンセント 13 情報・通信 14 前期まとめ 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
前期試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築設備」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
13B	建築設備B	2年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
給排水や空調、電気などの快適に建物を使用するため設備について、基本的な用語を知り、その仕組みについて考えます。				
【授業の概要】				
教科書に沿って、講義形式で授業を進めます。 室温のコントロールや換気を行うための設備、防災や消火のための設備を考える上で必要な用語やしくみについて学びます。				
【授業内容・授業計画】				
1 空調設備の概要 2 室内環境・空気線図 3 空調負荷 4 空調方式 5 熱源その1 6 熱源その2 7 搬送・自動制御 8 空調機 9 換気 10 排煙・自動制御 11 防災 12 消火 13 搬送 14 後期まとめ 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習1 18 補習2				
【成績評価】				
試験の結果で評価します。				
【テキスト】				
「基礎講座 建築設備」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
14A	構造力学1 A	1年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
構造力学の基礎である力を理解し、様々な構造体の支点到に生じる反力を力の釣り合い式によって算定する方法を学習する。。				
【授業の概要】				
力とは何かを、身近な現象を通して理解し、力の釣り合いによって構造物が成立していることを理解する。また、様々な構造体の特徴を理解し、それらの構造物の支点到に生じる反力・部材の中に生じる力の算定方法を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 力・力のモーメント 2 力の釣り合い1 3 力の釣り合い2 4 力の基礎のまとめ 5 中間試験 6 反力(単純梁) 7 反力(片持ち梁) 8 反力(張り出し梁・ラーメン) 9 反力のまとめ 10 応力(集中荷重) 11 応力(分布荷重) 12 応力(モーメント荷重) 13 応力のまとめ 14 前期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
14B	構造力学1 B	1年後期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
構造力学1Aで学習した反力をもとに、力(外力)によって構造体(部材)内生じる力(応力・応力度)を理解し、その算定方法を学習する。				
【授業の概要】				
構造物の中に生じる力(応力・応力度)にはどのようなものがあり、どのように生じているのかを理解する。また、許容応力度設計の概要について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 前期の復習				
2 梁の応力				
3 ラーメンの応力				
4 3ヒンジラーメンの反力と応力				
5 応力のまとめ				
6 中間試験				
7 断面1次モーメント・図心				
8 断面2次モーメント・断面係数				
9 断面のまとめ				
10 軸応力度・伸び				
11 曲げ応力度・せん断応力度				
12 許容曲げモーメント				
13 組み合わせ応力度				
14 後期のまとめ				
15 試験				
16 試験問題の解答と解説				
17 補習				
18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
15A	構造力学2 A	2年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄骨構造に用いられる構造とその問題点について学習する。応力・変形量の算定を通して問題点の解決法を考察する。				
【授業の概要】				
鉄骨構造をイメージし、橋・大空間に用いられるトラス、鉄骨構造で問題となる座屈、たわみについて解法を学習する。また、保有水平耐力算定を目的とする塑性解析についてその基礎的な部分を学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 許容応力度設計の復習 2 トラス(節点法) 3 トラス(切断法) 4 トラスのまとめ 5 トラス(問題演習) 6 中間試験 7 座屈(弾性座屈荷重) 8 座屈(問題演習) 9 部材の変形(たわみ・たわみ角式) 10 部材の変形(たわみの求め方) 11 座屈・部材の変形のまとめ 12 塑性解析(全塑性モーメント) 13 塑性解析(崩壊荷重) 14 座屈・変形・塑性解析のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
中間・期末試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				
1年生で使用したテキスト(改訂版「図説やさしい構造力学」)を引き続き使用します。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
15B	構造力学2 B	2年後期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
前半は不静定構造について学習する。不静定構造を解くためにはここまで学習してきた「力の釣り合い」と「変形」の知識が必要となる。 後半は2年間の総復習として、反力から応力度算定までの一連の流れを確認する。				
【授業の概要】				
前半の不静定構造では、固定モーメント法を通して力の伝わり方について学習する。 曲げモーメント図の描き方、応力算定の習得を目標とする。 後半の総復習では、静定構造の一連の解法を問題演習を通して振り返る。				
【授業内容・授業計画】				
1 前期の復習 2 不静定構造(不静定梁の解法) 3 不静定構造(水平力の分担) 4 不静定構造(分割・到達モーメント) 5 不静定構造(固定モーメント法) 6 不静定構造(せん断力・軸方向力・反力の算定) 7 不静定構造(まとめ) 8 中間試験 9 総復習(反力・せん断力) 10 総復習(せん断力・曲げモーメント) 11 総復習(トラス) 12 総復習(応力度) 13 総復習(断面2次モーメント) 14 後期のまとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
中間・期末試験による成績に、出席状況および授業時間内の課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
改訂版「図説やさしい構造力学」(学芸出版社)				
【備考】				
1年生で使用したテキスト(改訂版「図説やさしい構造力学」)を引き続き使用します。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
16A	一般構造A	1年前期	必修	毛利 隆之 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
①建築物の各部の名称・構成・機能、②建築物に用いる材料の種類・特徴・性能、 ③部材を組み合わせて一つの建築物にする方法、について理解する。				
【授業の概要】				
木造の主として在来構法について学ぶ。 視覚的な資料の提示により理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築構造のあらまし 2 木構造の特徴と構造形式 3 木材 4 木材の接合 5 基礎 6 軸組 7 伏図 8 耐力壁 9 小屋組 10 床組 11 階段・開口部 12 外部仕上げ 13 内部仕上げ 14 木造枠組壁構法 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況・課題の成績を加味する。				
【テキスト】				
「建築構造」（実教出版） 「必携 建築資料」（実教出版）				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
16B	一般構造B	1年後期	必修	毛利 隆之 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
①建築物の各部の名称・構成・機能、②建築物に用いる材料の種類・特徴・性能、 ③部材を組み合わせる一つの建築物にする方法、について理解する。				
【授業の概要】				
鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造について学ぶ。 視覚的な資料の提示により理解を深める。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄筋コンクリート構造の特徴と構造形式 2 鉄筋 3 コンクリート 4 基礎 5 躯体 6 仕上げ 7 壁式構造 8 プレストレストコンクリート構造 9 鋼構造の特徴と構造形式 10 鋼と鋼材 11 鋼材の接合 12 基礎・骨組 13 仕上げ 14 その他の構造 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況・課題の成績を加味して評価する				
【テキスト】				
「建築構造」（実教出版） 「必携 建築資料」（実教出版）				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
17	伝統構法・実験	2年後期	必修	佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
わが国に伝統的な木造住宅の構造を理解し、伝統土壁の耐力実験などを行う				
【授業の概要】				
在来軸組構造との構法的な違い、構造特性の違い、地震に対する構え方の違い、エコロジカルな視点での相違、水平加力実験などによる伝統耐力壁の構造特性を知る				
1 各種の木造の構造概説 2 伝統構法の概説-1 3 伝統構法の概説-2 4 京町家の構造の観察 5 伝統土壁試験体作成 6 各部詳細-1 基礎 床組 7 各部詳細-2 小屋組 8 各部詳細-3 軸組 9 仕口・継ぎ手 10 土壁の構造と耐力のメカニズム-1 11 土壁の構造と耐力のメカニズム-2 12 伝統土壁の耐力実験 13 伝統構造の耐震特性 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説				
【成績評価】				
出席、平素の授業態度および試験によって評価する				
【テキスト】				
「木質構造」有馬孝禮ほか編（海青社）				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
18	鉄筋コンクリート構造	2年前期	必修	佐久間 譲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄筋コンクリート構造の構造上の特徴を把握し、構造計画の基本を理解する。また、構造上の構成要素について、許容応力度計算の基本を理解する。				
【授業の概要】				
構造要素を構成する材料の特徴や強度を把握し、それらに生じる応力と、応力に対する抵抗のメカニズム及び許容応力度計算の基本を演習を行いながら学ぶ。また建築設計における重要な構造計画上のポイントを把握する。				
【授業内容・授業計画】				
1 外力の種類及びその概要と組み合わせ 2 鉄筋コンクリート構造の特徴 3 鉄筋コンクリート構造の特徴を踏まえた構造計画の基本 4 鉄筋コンクリート構造の構造計算の流れ 5 コンクリート及び鉄筋の材料定数 6 コンクリートと鉄筋の応力分担 7 コンクリート及び鉄筋の強度種別と許容応力度 8 梁の曲げモーメントに対する設計(1) 9 梁の曲げモーメントに対する設計(2) 10 柱の曲げモーメント及び軸力に対する設計(1) 11 柱の曲げモーメント及び軸力に対する設計(2) 12 梁・柱のせん断力に対する設計(1) 13 基礎の設計 14 地盤調査方法の種類とその留意点 15 試験 16 試験の解答と解説 17 試験後補習授業(1) 18 試験後補習授業(2)				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および演習課題の評価を加味する。				
【テキスト】				
「図設 やさしい構造設計」(学芸出版社) 「建築構造設計」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
19	鉄骨構造	2年後期	必修	佐久間 譲 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
鉄筋コンクリート構造の構造上の特徴を把握し、構造計画の基本を理解する。また、構造上の構成要素について、許容応力度計算の基本を理解する。				
【授業の概要】				
構造要素を構成する材料の特徴や強度を把握し、それらに生じる応力と、応力に対する抵抗のメカニズム及び許容応力度計算の基本を演習を行いながら学ぶ。また建築設計における重要な構造計画上のポイントを把握する。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨構造の特徴とそれを踏まえた構造計画の基本 2 鉄骨構造の計算の流れ 3 鋼材の種類及び材料定数 4 鋼材の強度種別と許容応力度 5 鋼材の形状と断面性能 6 引張材の設計 7 圧縮材の設計(1) 8 圧縮材の設計(2) 9 梁材の設計(1) 10 梁材の設計(2) 11 梁材の設計(3) 12 地盤の液状化について 13 地震力の算定 14 一貫構造計算ソフトの概要 15 試験 16 試験の解答と解説 17 試験後補習授業(1) 18 試験後補習授業(2)				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および演習課題の評価を加味する。				
【テキスト】				
「図設 やさしい構造設計」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
20A	建築材料A	1年前期	必修	中村 直美 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築物の構造材料としての木材・コンクリート、及び一部の仕上材について理解する。				
【授業の概要】				
建築物の柱や梁などの骨組みを構成する木材・コンクリートについて、構造素材としての基礎知識や特性、利用事例について体系的に学習する。また仕上材料については、実物見本や事例写真を用い、その利用や性能について学習し、基礎知識の習得に努める。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築材料概要 2 木材の種類／木材の特徴 3 木材の強度／木材の構造 4 木材と水分／木取り・規格・等級 5 エンジニアリングウッド 6 コンクリートの概要／セメント 7 骨材／水／混和材料 8 コンクリートの性質 9 コンクリートの調合設計 10 コンクリート圧縮試験 11 コンクリートの種類／製品 12 焼成品 13 ガラス 14 左官材料 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況、演習課題の成績を加味して評価する。				
【テキスト】				
テキスト:改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社) サブテキスト:「必携 建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
20B	建築材料B	1年後期	必修	中村 直美 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築物の構造材料としての鋼材、各種仕上材について理解する。				
【授業の概要】				
建築物の柱や梁などの骨組みを構成する鋼材について、構造素材としての基礎知識や特性、利用実例について体系的に学習する。また仕上材料については、実物見本や事例写真を用い、その利用や性能について学習し、基礎知識の習得に努める。				
【授業内容・授業計画】				
1 鋼材の概要／製鋼の工程 2 製鋼の特徴／種類 3 鋼材の性質 4 鋼材の腐食と防食／鋼材の規格 5 非鉄金属 6 石材 7 ボード類 8 プラスチック材料 9 塗料、接着剤 10 部位別材料 床 11 部位別材料 壁／天井 12 部位別材料 防水材料／防火材料／耐火材料／断熱材料 13 性能別材料 防音・吸音材料／シックハウス 14 演習 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に出席状況、演習課題の成績を加味して評価する。				
【テキスト】				
テキスト:改訂版「図説やさしい建築材料」(学芸出版社) サブテキスト:「必携 建築資料」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
21	建築産業	2年前期	必修	菅 原 章 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築産業のしくみを知る				
【授業の概要】				
建築の業種と職種を学び、進路選択に役立てるとともに、建築の生産過程とその中における各職の役割について学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 建築の業種と職種 2 就職活動の案内(求人票・履歴書・面接) 3 建築生産(建物が出来上がる過程・建物の設計・施工形態) 4 設計図書・特記仕様書 5 施工者の選定方式 6 工事請負契約 7 工事費用の見積と積算 8 工事監理者の業務 9 建築確認申請 10 品質管理・ISO9000 11 住宅品質法・瑕疵担保履行法 12 工程管理・工程表 13 環境管理・ISO14000 14 完成、引渡し、アフターケア 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験の成績に、毎回の小テストの結果と出席点を加味する。				
【テキスト】				
「マイロード21 専修・各種学校生の就職ガイド」(実教出版)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
22A	建築施工法A	2年前期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築工事施工のための基礎知識を学ぶ				
【授業の概要】				
建築各専門分野の知識をベースに建築物を造り上げるための知識、すなわち建築各材料が施工上いかなる特性を持つかを学び又建築物がいかなる構造、仕様で成り立っているか、各工法を含め施工学としての知識を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 施工学概要、工事契約 2 施工計画、施工管理 3 地盤調査、測量 4 仮設工事 5 土工事 6 基礎事業工事 7 小テスト1 8 鉄筋コンクリート工事1 9 鉄筋コンクリート工事2 10 鉄筋コンクリート工事3 11 鉄筋コンクリート工事4 12 小テスト2 13 演習 14 前期総括 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況及小テスト成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築施工」(学芸出版社)				
【備考】				
適宜、見学				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
22B	建築施工法B	2年後期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築工事施工のための基礎知識を学ぶ				
【授業の概要】				
建築各専門分野の知識をベースに建築物を作り上げるための知識、すなわち建築各材料が施工上いかなる特性を持つかを学び又建築物がいかなる構造、仕様で成り立っているか、各工法を含め施工学としての知識を学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 鉄骨工事1 2 鉄骨工事2 3 コンクリートブロック工事 4 木工事 5 防水・屋根工事 6 左官工事 7 タイル・張り石工事 8 小テスト1 9 塗装工事 10 建具・ガラス工事 11 内装・断熱工事 12 設備工事・施工機械 13 小テスト2 14 後期総括 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況及小テスト成績を加味する。				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築施工」(学芸出版社)				
【備考】				
適宜、見学				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
23A	建築積算A	2年前期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計図面を読んで、工事費を算出するための手法を学びます。				
【授業の概要】				
教科書とプリントを用いて、演習方式で授業を進めます。木造住宅について、演習を行いながら積算手法を身につけます。				
【授業内容・授業計画】				
1 積算の概要 2 木造 1 基礎部分 3 木造 2 土台 4 木造 3 床組み(1) 5 木造 4 床組み(2) 6 木造 5 軸組み(1) 7 木造 6 軸組み(2) 8 木造 7 軒梁 9 木造 8 小屋組 10 木造 9 屋根 11 木造10 建具 12 木造11 外壁 13 木造12 外部造作 14 木造13 まとめ 15 前期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 1 18 補習 2				
【成績評価】				
試験の結果に演習の習熟度を加味します。				
【テキスト】				
「初めての建築積算」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
23B	建築積算B	2年後期	必修	中 美加子 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
設計図面を読んで、工事費を算出するための手法を学びます。				
【授業の概要】				
教科書とプリントを用いて、演習方式で授業を進めます。前半は、前期授業に引き続き木造住宅について、後半はRC造についてです。				
【授業内容・授業計画】				
1 木造14 内部造作 2 木造15 塗装 3 木造16 内装 4 木造17 仮設 5 木造18 木造まとめ 6 RC造 1 土工 7 RC造 2 コンクリート 8 RC造 3 型枠工 9 RC造 4 鉄筋工(1) 10 RC造 5 鉄筋工(2) 11 RC造 6 まとめ/工事費の構成 12 S造 1 柱 13 S造 2 接合部 14 後期まとめ 15 後期試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 1 18 補習 2				
【成績評価】				
試験の結果に演習の習熟度を加味します。				
【テキスト】				
「初めての建築積算」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
24A	建築法規A	2年前期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築基準法をはじめとする建築法規について基本的事項を理解する。				
【授業の概要】				
建築基準法の集団規定と単体規定について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 集団規定、単体規定 2 建築基準法の基本定義 3 建築確認申請の手続き 4 道路の定義、道路の規制 5 用途地域による建築物の制限 6 小テスト1 7 建築面積、建ぺい率の制限 8 延べ床面積、容積率の制限 9 高さ制限、日影規制 10 演習問題 11 小テスト2 12 防火、準防火地域、耐火、準耐火建築物 13 防火区画、内装制限 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
出席状況及び小テスト、期末試験の成績により評価する				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社) 「建築関係法令集 法令編 2022」(総合資格学院)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
24B	建築法規B	2年後期	必修	高橋 完実 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築基準法をはじめとする建築法規について基本的事項を理解する。				
【授業の概要】				
建築基準法を中心に、建築士法、都市計画法、消防法、バリアフリー法について学習する。				
【授業内容・授業計画】				
1 集団規定、単体規定、階段 2 階段、傾斜路、2以上の直通階段が必要な建物 3 歩行距離、廊下、非常用進入口、非常用照明 4 小テスト1 5 居室の採光、換気、排煙(ALVS) 6 天井高、地階、シックハウス 7 小テスト2 8 構造計算、構造設計 9 木造建築の構造規定 10 鉄筋コンクリート、その他の建築構造 11 小テスト3 12 建築士法、建設業法 13 都市計画法、消防法、バリアフリー法 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習				
【成績評価】				
出席状況及び小テスト、期末試験の成績により評価する				
【テキスト】				
「図説 やさしい建築法規」(学芸出版社) 「建築関係法令集 法令編 2022」(総合資格学院)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
25a	卒業制作A (池井・魚谷)	2年前期	選択必修	池 井 健 魚 谷 繁 礼
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
具体的な都市、地域における建築プロジェクトの実践的演習を通して、地域コンテキストを読み取り、社会的問題に対して建築により提案する術を習得する。				
【授業の概要】				
設定した地域とテーマに関する調査を行ない、その分析を踏まえて建築を提案する。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション				
2 エスキスチェック				
3 エスキスチェック				
4 エスキスチェック				
5 エスキスチェック				
6 エスキスチェック				
7 エスキスチェック				
8 エスキスチェック				
9 エスキスチェック				
10 エスキスチェック				
11 プレゼンチェック				
12 プレゼンチェック				
13 プレゼンチェック				
14 プレゼンチェック				
15 発表				
【成績評価】				
授業態度、最終成果物によって総合的に判断する。				
【テキスト】				
特になし。				
【備考】				
建築を設計することに対し、意欲の強い学生のための受講を希望します。 最終成果物は書籍の一部として出版されることもあります。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
25b	卒業制作A (田所)	2年前期	選択必修	田所 克庸
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
実践的な設計を通し、建築の総理解を目的とする				
【授業の概要】				
テーマやコンセプトの作成、エスキスを繰り返す事で、設計を深め、建築作品を制作する。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション				
2 エスキスチェック				
3 エスキスチェック				
4 エスキスチェック				
5 エスキスチェック				
6 エスキスチェック				
7 エスキスチェック				
8 エスキスチェック				
9 エスキスチェック				
10 エスキスチェック				
11 エスキスチェック				
12 エスキスチェック				
13 プレゼンチェック				
14 プレゼンチェック				
15 プレゼンチェック				
16 プレゼンチェック				
17 発表				
【成績評価】				
授業態度、最終成果物によって総合的に判断する。				
【テキスト】				
特になし。				
【備考】				
ゼミ中は主にエスキスチェックとなるため、作業はゼミ以外の時間で行う事。 そのため、ゼミまでに成果物を制作する事。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】	
25c	卒業制作A (佐野)	2年前期	選択必修	佐野 春仁 久保 亮太 本間 智希	
		【週時間数】	【単位数】		
		2	2		
【授業の目的】					
卒業制作木工コースとして、大工技術の習熟を行うとともに、壬生、中川、五条の建設を通して伝統木造の工法を体験的に学ぶ					
【授業の概要】					
大工道具の扱いをよりレベルアップすべく、単純な技能練習と道具の手入れ、図面作成を行う。材の加工、小屋建設を行う。施工図の作成、見積もり、施工計画などを演習する。原則、毎日必ず基本トレーニングを行う。					
【授業内容・授業計画】					
1 柱・梁 部材の刻み					
2 "					
3 "					
4 "					
5 "					
6 "					
7 "					
8 "					
9 "					
10 "					
11 "					
12 "					
13 "					
14 "					
15 "					
夏休み中、現地にて建方、屋根下地などを行う					
16 軸組、竹小舞などを行う					
【成績評価】					
日頃の実習姿勢 及び 作業日誌、図面などの評価					
【テキスト】					
「大工技術を学ぶ1」(市ヶ谷出版)					
【備考】					
原則、月・木週2回行う。 夏休み、補講期間は平日毎日作業を行う予定 大工を目指す者は道具一揃いを用意する。 道具の手入れ、基本技法練習は毎日反復練習を行う。					

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
26a	卒業制作B (池井)	2年後期	選択必修	池 井 健
		【週時間数】	【単位数】	
		8	6	
【授業の目的】				
建築設計に関するあらゆる視点を身に付け、総合的な能力を磨く。				
【授業の概要】				
卒業制作Aの内容を引き継ぎ、具体的な建築物を設計する。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション				
2 エスキスチェック				
3 エスキスチェック				
4 エスキスチェック				
5 エスキスチェック				
6 中間発表				
7 エスキスチェック				
8 エスキスチェック				
9 エスキスチェック				
10 エスキスチェック				
11 プレゼンチェック				
12 プレゼンチェック				
13 プレゼンチェック				
14 プレゼンチェック				
15 発表				
16				
17				
【成績評価】				
授業態度、最終成果物によって総合的に判断する。				
【テキスト】				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
26b	卒業制作B (田所)	2年後期	選択必修	田所 克庸
		【週時間数】	【単位数】	
		8	6	
【授業の目的】				
卒業制作Aと同じく、実践的な設計を通し、建築の総理解を目的とする				
【授業の概要】				
卒業制作Aの内容を更に押し進め、習熟した建築作品を制作する。				
【授業内容・授業計画】				
1 オリエンテーション				
2 エスキスチェック				
3 エスキスチェック				
4 エスキスチェック				
5 エスキスチェック				
6 エスキスチェック				
7 エスキスチェック				
8 エスキスチェック				
9 エスキスチェック				
10 エスキスチェック				
11 エスキスチェック				
12 エスキスチェック				
13 プレゼンチェック				
14 プレゼンチェック				
15 プレゼンチェック				
16 プレゼンチェック				
17 発表				
【成績評価】				
授業態度、最終成果物によって総合的に判断する。				
【テキスト】				
特になし。				
【備考】				
ゼミ中は主にエスキスチェックとなるため、作業はゼミ以外の時間で行う事。そのため、ゼミまでに成果物を制作する事。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
26c	卒業制作B (佐野)	2年後期	選択必修	佐野 春仁 福 井 均
		【週時間数】	【単位数】	
		8	6	
【授業の目的】				
卒業制作木工コースとして、大工技術の習熟を行うとともに、壬生川、中川、五条の建設を通して伝統木造の工法を体験的に学ぶ				
【授業の概要】				
大工道具の扱いをよりレベルアップすべく、単純な技能練習と道具の手入れ、図面作成を行う。前期に続いて堀川茶室及び小さな農小屋の建設を行う。原則、毎日必ず基本トレーニングを行う				
【授業内容・授業計画】				
1 中塗、建具製作などを行う				
2 //				
3 //				
4 //				
5 //				
6 //				
7 //				
8 土間下地モルタル、三和土などを行う				
9 //				
10 //				
11 //				
12 竣工 ＜12月末引渡し予定＞				
13 公園ベンチ等の製作				
14 //				
15 //				
16 まとめ				
【成績評価】				
日頃の実習姿勢 及び 作業日誌、図面などの評価				
【テキスト】				
「大工技術を学ぶ1」(市ヶ谷出版)				
【備考】				
原則、月・木の2回を作業日とする				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
27	インテリア基礎	1年後期	必修	山本 剛史 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
インテリアの基本を学ぶ。				
【授業の概要】				
インテリアの歴史を学び、時代のニーズに合った計画を考える。				
【授業内容・授業計画】				
1 日本人の空間感 <講義> 2 自然を雛形として庭に取り込み、季節を楽しむ暮らしを実践 3 床座から椅子座へ 日本人の暮らしの変遷 4 家具の歴史 5 北欧家具に見る 人間工学への視点と応用 ユニバーサルデザイン 6 テキスタイルと空間に見る平面性 7 ヒューマンスケール 8 日本の色使い 襲の色目からわびさび 9 茶の湯の空間 引き算の美学 10 インテリアの素材 照明 設備 本物とフェイク 11 ちぢみ かさね たたむ <実習> 12 あいまい なあなあ 13 引き出しがいっぱい 14 多様性 15 好きなインテリア				
【成績評価】				
実習提出及び出席点による。 (提出物等適宜あり)				
【テキスト】				
「住まいの文化」(学芸出版社)				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
28	木工基礎	1年前期	必修	久保 亮太
		【週時間数】	【単位数】	
		3	1	
【授業の目的】				
大工道具の使い方を覚え、木の加工の難しさ、楽しさを知る				
【授業の概要】				
大工道具を用いて使い方や手入れの仕方、基本的な仕口・継手をこしらえる				
【授業内容・授業計画】				
1 墨差しをこしらえる				
2 ノコギリをつかう				
3 渡り顎				
4 "				
5 長ホゾ込栓				
6 "				
7 ノミのかつら直し／研ぎ				
8 腰掛け蟻				
9 "				
10 鉋をつかう				
11 鎌継手				
12 "				
13 "				
14 作業馬作成				
15 "				
【成績評価】				
出席状況ならびに成果物によって評価する				
【テキスト】				
大工技術を学ぶⅠ（第3版）市ヶ谷出版				
【備考】				
人数を半分に分けて火曜と金曜に行う				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
29	工学基礎1	1年前期	必修	浅野 清昭 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築を学ぶ上で最低限必要な数学・物理学を学習し、数学・物理学と建築工学との関連性を明らかにする。				
【授業の概要】				
構造力学、構造設計、環境工学等に関連するものを選び、全員が習得できることを目標とする。				
【授業内容・授業計画】				
1 数の計算、方程式 2 面積・体積 3 図 形 4 平方根、三角比 5 指数・対数 6 中間試験(数学の内容1-4) 7 重量の算定 8 速度・加速度 9 風圧力の算定 10 地震力の算定 11 フックの法則 12 仕事とエネルギー 13 音、熱 14 まとめ 15 試験 16 試験問題の解答と解説 17 補習 18 補習・追試験				
【成績評価】				
試験による成績に、出席状況および授業中の課題の出来を加味する。				
【テキスト】				
【備考】				
毎回配布する資料・演習問題を教材とする。				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
30	建築概論	1・2年	必修/選択	佐野 春仁
		【週時間数】	【単位数】	
		通年隔週	2	
【授業の目的】				
今日の建築をめぐる状況や問題点を知り、それを踏まえて建築の魅力や価値、アプローチの仕方を、いろいろな観点から眺めてみる。建築の各分野で活躍している卒業生によるミニレクチャーも行う。				
【授業の概要】				
毎回の講義、意見交換、ミニレクチャーを聞き取り、感想を交えて簡単なメモを作成する。				
【授業内容・授業計画】（具体的な例で示す）				
1 理事長訓示 技術人の心得				
2 建築の魅力1				
3 卒業生ミニレクチャー1 設計				
4 建築の魅力2				
5 卒業生ミニレクチャー2 大工				
6 建築の魅力3				
7 卒業生ミニレクチャー3 工務店				
8 建築の魅力4				
9 卒業生ミニレクチャー4 行政				
10 建築の魅力5				
11 ミニレクチャー5 不動産				
12 建築の魅力6				
13 ミニレクチャー6				
14 建築の魅力7				
15 卒業制作発表				
16 まとめ				
【成績評価】				
出席状況ならびに提出物によって評価する				
【テキスト】				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
31	意匠演習	1年前期	選択	円満字 洋介 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築デザインの基礎力を養成する。				
【授業の概要】				
道具を自在に扱える力を身につける。 図法についてひととおり使えるようにする。 建築デザインの基本的な発想法について学ぶ。				
【授業内容・授業計画】				
1 模型作りの練習 ・カッター、熱線カッター、円カッター				
2 図法の練習 ・アクソメ図、アイソメ図、一点パース、二点パース ・エンピツ、定規、絵の具				
3 建築デザインの手法を課題を通して学ぶ。 ・形態の足し算引き算、分節、繰り返し				
4 レタリングの練習				
5 スケッチ 御所でのスケッチを複数回行う。				
6 陰陽五行説の解説				
【成績評価】				
演習提出物によって評価する				
【テキスト】				
なし				
【備考】				
用意するもの スケッチブック、4Bエンピツ、カッター、カッターマット、 30センチプラスチックものさし、色鉛筆12色程度、消しゴム、字消し板				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
32	工学基礎2	1年後期	選択	円満字 洋介 (実務経験有)
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
建築デザインの応用力を開発する。 自力で建築を発想し表現する力を養う。				
【授業の概要】				
課題を通して発想とプレゼンの練習を行う。				
【授業内容・授業計画】				
1 敷地模型作成の練習 ・市街地、傾斜地 2 課題を通して模型やパースなどプレゼン手法を練習する。 3 発想に必要な諸要素を検討する。 ・光、音に対する感覚 ・歴史や伝統、地域文化に対するまなざし 4 スケッチ 御所でのスケッチを複数回行う。 5 陰陽五行説の解説				
【成績評価】				
演習提出物によって評価する。				
【テキスト】				
【備考】				
用意するもの スケッチブック、4Bエンピツ、カッター、カッターマット、 30cmプラスチックものさし、色鉛筆12色程度、消しゴム、字消し板				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
33	設計演習	2年前期	選択	田所 克庸・菅原 章 中田 哲・中 美加子
		【週時間数】	【単位数】	
		3	3	
【授業の目的】				
1.建築物のリノベーションの計画を通じて、内装や設備についての知見を深める。 2.2D-CAD、3D-CADの操作に習熟する。				
【授業の概要】				
1.事務所ビルの一部を店舗に改修する 2.JW_CADを用いて図面化 3.Google Sketchupを用いた3Dモデルの作成 4.設備設計				
【授業内容・授業計画】				
1 意匠 1:課題説明/計画の構想 2 意匠 2:平面計画の検討及び平面図の作成(フリーハンド) 3 意匠 3:断面計画の検討及び断面図の作成(フリーハンド) 4 意匠 4:平面図及び断面図の提出 5 JW_CAD 1:平面図 6 JW_CAD 2:展開図 7 JW_CAD 3:天井伏図、仕上表 8 3D-CAD 1:スケッチアップの基本 9 3D-CAD 2:内観(1) 10 3D-CAD 3:内観(2) 11 3D-CAD 4:外観、パース 12 設備 1:給排水(1) 13 設備 2:給排水(2) 14 設備 3:雨水 15 設備 4:照明・電気				
【成績評価】				
提出物の評価および出席点による。				
【テキスト】				
【備考】				

【科目名】		【履修学年】	【必修選択】	【担当教員】
34	建築士基礎演習	2年後期	選択	菅原 章・永良 勲 山口 英樹・高橋 完実
		【週時間数】	【単位数】	
		2	2	
【授業の目的】				
二級建築士試験(学科)に向けた対策				
【授業の概要】				
試験問題に取り組み、必要な知識を身につける。				
【授業内容・授業計画】				
1 計画1:オリエンテーション・建築史 2 計画2:建築計画 3 計画3:環境工学・設備 4 法規1:法規について、法規の勉強の仕方 5 法規2:法の体系、法令集の作りこみ(インデックス) 6 法規3:法令集の作りこみ(アンダーライン)、法令集の使い方、条文の読み方 7 法規4:法令集を使っでの問題演習 8 構造1:計算問題は実は難しくない。計算機なしで解く応力算定問題 9 構造2:応力と応力度の違い。応力度の解き方 10 構造3:難しそうで実は簡単なトラス問題 11 構造4:文章題は半数以上が過去問から。よく出る問題は確実に覚える 12 施工1:過去問題と説明 13 施工2:一部項目の詳細説明と演習1 14 施工3:一部項目の詳細説明と演習2 15 試験(法規・計画・構造・施工) 16 (予備日)				
【成績評価】				
試験の成績と出席状況による。				
【テキスト】				
「建築関係法令集 法令編 2021」(総合資格学院)				
【備考】				
卒業後の資格取得に向けて受講を推奨する。				